

歯科用コンピュータにおける口腔情報と標準形式への出力

多貝 浩行

株式会社モリタ

The oral information in the dental computer and the output to a standard format

Tagai Hiroyuki

J. Morita Corporation

Most computer systems developed for dental clinics have functions available in insurance claim processing in Japan. So that some of them already have function to store and output each tooth status in chronological order of patient visits. In this review, I would like to show details of these important functions concerned with standardization of dental information in a time of disaster.

Keywords: dental computer, oral information, standard format, oral examinations, disaster, identification

1. 背景

歯科用コンピュータは、歴史的には1980年代前半からの院内処理方式レセコンに始まり、1990年代後半からX線画像管理システムが商品化され、近年では、患者説明用や診療予約管理の専用システムが販売されている。

災害時等の身元確認への利用を考えるにあたって、それらの各システムにおける口腔情報としてどういったものがあるか、どのような形式に出力すれば有効かについて考察する必要がある。

2. レセプト／カルテシステムの口腔情報

初期のレセコンは、診療報酬の請求に必要な情報のみを入力しレセプト等を出力するのみで、口腔情報と呼べるものを保管するには容量的にも余裕がなかったが、徐々にハードウェアの容量や性能が向上して来るにつれ、カルテに記載すべき項目を入力し印刷したり、過去に入力された傷病名や処置を元に各歯牙の有無や修復物、補綴物等を口腔情報として管理して一覧画面に表示する機能を持つようになり、保険請求のチェックを行うのにも利用されるようになった。

それでも情報として存在するのはその医療機関で傷病名を付け処置を行った部位のみであり、何も行っていない部位についての情報は存在しない。

3. 口腔診査情報の入力／管理

カルテ1号紙には歯牙配列図が予め印刷されているが、厚労省通知による「診療録等の記載上の注意事項」には「必要がある場合、口腔診察の所見等を記載する。」といったゆるやかな規定があるのみで、医療現場では必ずしも記載されていなかった。

そのため、カルテ情報を扱うコンピュータにおいて初診時の口腔審査情報を扱う機能が搭載されるようになって、実際に全ての患者について入力する医療機関は限られている。

一方、最近普及して来た患者説明用ツールにおいては、ビジュアルにて説得力ある説明をするために、全ての歯牙の口腔審査情報を入力して管理されるようになって来ている。

4. 運用の実情

この辺りの歯科用コンピュータの口腔情報の管理

機能の実情を整理して紹介すると共に、実際にどれ程度の医院でどの辺まで入力されているものかといった運用の実態を把握すべく、最近導入のユーザについて調査した結果を報告する。

5. まとめ

システムとしては入力して管理する機能があっても、ユーザがどこまで利用しているかによって、保持されている情報の粒度は大きく異なる。災害時等の身元確認の生前情報として利用するために歯科用コンピュータから出力する口腔情報の標準形式は、口腔診査情報の入力がされていればその詳細な情報を活用し、保険請求のための最低限の入力のみであってもそれなりに活用できるような仕様である必要があり、また検索ツールは、その様々な粒度の情報が混在する中から検索できる必要があると考える。

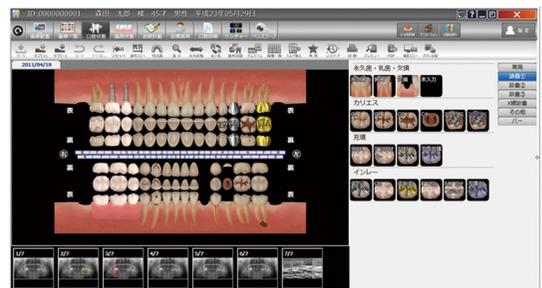


図1 口腔診査情報の入力/表示画面

参考文献

- [1] 小室 歳信 大規模災害時の身元確認に資する歯科診療情報の標準化に関する研究(厚生労働科学特別研究事業 平成24年度総括・分担研究報告書). 2013年3月.
- [2] 一般社団法人新潟県歯科医師会ら 歯科診療情報の標準化に関する実証事業報告書(平成25年度厚生労働省委託事業). 2014年3月.

0-F-2-1 共同企画/0-F-2:共同企画1